



春陽会

北海道研究会 版画部

第8号 2017年10月13日

発行責任者 大井戸 百合子

札幌市中央区旭丘5丁目2-1

☎ 011-561-0525

オリンピックで活躍した高木慕那、美帆ちゃんの出身の町

幕別展 盛大に開催さる

— 千葉定是と春陽会北海道研究会版画部展 —

2017年8月26日(土)から9月2日(土)まで、幕別百年記念ホールにおいて、2017年北海道研究会版画部作品展が開催されました。

8月26日は9時からオープニングセレモニーがあり、当ホール佐藤和良館長や地元実行委員会のあいさつのあと、オープニングに参加した大井戸、佐々木、澁谷、千葉、府川、および藤林の各研究生による作品紹介や「版画の種類と技法」などのギャラリートークが行われました。

オープニングには、幕別町を始め帯広市近郊などからおよそ50名が参加し、作品紹介終了後に早速版画制作技法などの質問がなされ熱心に聞き入るなど、版画愛好家が多く関心の高さがうかがえました。

幕別町では、本作品展を成功させるため当地での実行員会を組織して取り組んでくれたことや、地元紙の十勝民報、北海道新聞(十勝版)などで紙面紹介をしてくれたこともあり、作品展芳名記帳者だけでも192名にのぼり、来観者はその3倍程度(千葉研究生談)になるとされます。

地元実行委員会では、作品一覧や作家プロフィールを掲載したシオリを制作したり、作品搬出にも数名の方々にお手伝いいただくなど、幕別作品展を活況にするため、多大なご協力をいただきました。

搬入日には陳列に駆けつけた研究生と地元実行委員会の方も加わり、懇親会が和やかに行われました。



作品展示ホール



トークギャラリー

□ 展示作品一覧 (寸法単位:cm)

作者	タイトル	寸法(縦×横)	作者	タイトル	寸法(縦×横)
大井戸 百合子 (銅版画)	夜のさくら	20×50	府川 誠 (リトグラフ)	新緑	35×50
	流送	20×50		菜原	35×50
	牧場	20×50		隠野	35×50
	渡り鳥	20×50		高原の朝	35×50
佐々木 千晶 (木版画)	青鹿の花瓶	54×38	福岡 幸一 (銅版画)	白亜紀エゾのメサ	40×60.8
	赤瑠璃色の花瓶	54×38		白亜紀サトウのメサ	60×44.7
	アネモネ	54×38		白亜紀サトウのメサ	60×50.4
	雲竜柳と八重百合	54×38		白亜紀サトウのメサ	50×54.7
澁谷 美求 (銅版画)	藍色の女II	55×36.5	藤林 峰夫 (木版画)	潮風を聴く岬	
	ムスビ	50×36.5		霧多布岬にエゾカシノウの咲く頃	
	青の世界II	50×36.5		打瀬舟I	
	青の旋律	50×36.5		トドワラ	
千葉 定是 (ペーパー・スクリーン)	風のひびき	95×115	山本 修一 (木版画)	東大雪の峻嶽	56×74
	爽気	120×95		然別湖	63×48
	風の状景・丘	62×82		オンネトー	37×44
	風の状景・草原	62×82		漢河沼	41×52
	風の状景・水辺	82×62			